



2020 年度（令和 2 年度・第 6 期）

# 事業報告書

1. 2020 年度を振り返って
2. 2020 年度 事業報告書
  - ・ 全体概要および事業内容補足事項
  - ・ 運営に関する事項
3. 2020 年度 活動計算書
4. 2020 年度 貸借対照表
5. 2020 年度 財務諸表の注記
6. 2020 年度 財産目録
7. 監査報告書

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

# 1. 2020 年度を振り返って

---

2020 年度は、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス(COVI-19)感染症の影響が大きく、どの業界においても想定していた事業も変化をせざるを得ない1年となりました。その渦中でもポケットサポートは 2025 年ビジョンの 3 つのミッションの下、「ピンチ」を私たちにできる「チャンス」に変え、事業を進めてきました。

## Mission

(ポケットサポートが社会で果たすべき使命)

- ①環境をつくる
- ②生きる力を育む
- ③人や気持ちを繋ぐ

1 つ目のミッション「環境をつくる」では、今年度は学習支援や復学支援、自立支援をすべてリモート(オンライン)化によって実施をしました。岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業では小児科の医師からの相談で、Yahoo!基金や J-Coin 基金の助成を得てオンラインで使用するための機材を購入し、病院に入院している子どもたちへのオンライン支援の整備を進めました。国立岡山医療センターでは7月より、岡山済生会総合病院では9月からオンラインによる支援を開始することができました。その中で、それぞれの医療機関へ iPad 配布、アプリ等の使用により医療スタッフとのやりとりも以前よりスムーズな連絡調整が行えるようになるという利点も生まれました。支援拠点でも対面での学習支援や交流支援は休止となる中、YouTube ライブ配信による学習講座や交流イベントを実施することで、ステイホーム中や入院中の病気を抱える子どもたちやご家族と、岡山県内だけでなく、全国の方々ともつながることができました。

そして今年度も、コロナ禍で大変な中でも受験勉強を進めてきた受験生が無事進学を果たすことができました。無事、合格をした際、保護者の方から「学校へ全く行けなかったときから、ずっと母子ともにたくさん支えてくださりありがとうございました。スタッフの皆様大変お世話になりました。進学することが決まって、みんなと同じスタートができること、本当にありがたいです。」とメッセージをいただきました。今後も、子どもたちや家族と継続的に成長を見守ることができる NPO 法人の役割を果たしていければとスタッフ一同、心から思う出来事となりました。

2 つ目のミッション「生きる力を育む」では、年度のはじめに起こった全国の緊急事態宣言下に、療養中の子どもたちやステイホームを余儀なくされた病気を抱える子どもたち、きょうだいと、いち早くオンラインで繋ぎ日々励ましあいながら過ごすことができました。

日々オンラインで繋ぐ中、支援のコンテンツが煮詰まりそうになってきたときに子どもから発せられた「こうやってつないで話すだけでも安心するよな〜」という言葉。つながっていることの大切さや、「ひとりじゃない」とみんなが思える空間が作れていたことを再認識しました。毎年実施しているクリスマス会も、今年は zoom による開催で感染症対策をしながら子どもたちやご家族と笑顔あふれる時間が持てたことも、大切な思い出となりました。

今年度、岡山市市民活動支援金により開設した慢性疾病を抱える子どもたちが安心して復学できるように応援する「ポケサポ相談ダイヤル」へも岡山県内の各地から相談のお電話をいただきました。コンビニへ買い物に行くことも不安を覚える日々や、学校を自主休校している子どものお話、病院に入院している中で家族とも 15 分しか面会ができないなど、コロナ禍によって病気を抱える子どもたちの置かれている環境はとても厳しいということが浮き彫りにもなってきました。相談ダイヤルに寄せられた電話の中でも、お話を

することで最初は神妙な面持ちで話されていた保護者の方が、最後には安堵されたように電話を切っていただけたときに、相談先のあることの大切さも痛感しました。

3つ目のミッション「人や気持ちをつなぐ」では、今年度ベネッセこども基金の助成事業による岡山県内全ての学校へのアンケート調査を実施し、その調査報告会や病気を抱える子どもたちの教育支援を考えるシンポジウムを YouTube ライブ配信によって開催いたしました。アンケート調査票の作成には、有識者のご協力、シンポジウムは340名を超える参加と文部科学省調査官の先生や、成育医療研究センターの理事長の先生からのメッセージなど、当団体にとって過去最大規模の講演会となりました。内容からも課題を感じて頂くことや他地域でも取り組みを進めていきたいなど前向きな回答を得ることができました。病気の子どもたちの置かれている環境の理解が深まったことに加え、当団体のような病気の子どもたちの支援団体の認知、支援の拡充につながっていくと一定の成果を感じています。大学生ボランティアの新規説明会や講習もリモートにより実施し、支援活動の根を絶やさないう持続的に活動できるよう試みています。

その中でも印象的だった出来事は、入院している子どもたちへの卒業式の中継の実施です。外出や外泊が難しい生徒に対し、子ども本人の思いを学校関係者や医療関係者が汲み取り、私たちへ相談いただいたことにより、技術面や子どもへの心理的サポートなどを行い、県内の中学校と高等学校の2件について中継を行うことができました。

岡山以外の地域でも私たちの活動によって感化されたり、研修会や病院など様々な場で出会った人たちを中心に、病弱児への支援の輪が広がっていく流れも出てきました。全国各地で開催されるオンライン研修会の講師として講演するだけでなく、病弱児支援を担うスタッフの方々とながら、交流を深めました。

また、病弱教育専門の日本育療学会の学術集会で、大学教員以外では初めてのこととして当団体が基調講演を行わせていただき、病気の子どもたちの支援の輪を地域で広げていく取り組みを中心にお話させていただきました。

その他、今年度はハチドリ電力により再生可能な自然エネルギーを利用した電力への切り替えで、電気料金の1%をポケットサポートへ寄付していただけるという、新たな協力体制も生まれました。また、明治ホールディングスの株主の方々からお菓子寄贈や、山陽新聞社様から絵本寄贈、セールスフォース社員のボランティア参加など、様々な企業と協働することができました。



今後は、アンケート調査事業の結果から見えた課題解決に向けた取り組み、コロナ禍でも安心して子どもたちへ学びや安心できる場を提供できる環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと思えます。そのために欠かせない様々な機関や人との連携・協働をしながら、支援活動を行っていく所存です。この1年も変わらず、病気による困難を抱える子どもたちを支える支援団体として、認定 NPO 法人ポケットサポートの応援よろしく願いいたします。

代表理事 三好 祐也

## 2. 2020年度（令和2年度・第6期）事業報告

### (1) 病弱児の身体的精神的状態に合わせた学習復学支援事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象・人数
		開催日時・場所		従事者数
個別学習支援	自宅療養中や復学初期の子どもに対する学習サポート	自主	1,148,793	小中高校生 のべ約 30 名
		随時・オンライン等		30 名
双方向WEB学習支援	ICT 機器や WEB を活用した学習支援および学校と医療機関をつなぐ中間コーディネート	助成	1,027,067	小中高校生 のべ約 100 名
		随時・オンライン等		30 名
ボランティア育成	学習支援及び相互交流支援を行う人材育成、オンライン支援に必要な PC 等の環境整備	助成	2,105,281	大学生 のべ約 100 名
		年 4 回・オンライン等		30 名
ポケサポポイント	慢性疾病を抱える子どもの学ぶ意欲支援事業	助成	699,323	小中高校生 のべ約 40 名
		随時・オンライン等		5 名
		小計	4,980,464	

### (2) 病弱児同士の交流や集団での学習活動支援事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象・人数
		開催日時・場所		従事者数
ポケットスペース運営	利用者の環境に応じた相互交流、ピアサポート相談、学習支援を実施	受託	1,946,061	小児慢性特定 疾病児童等 のべ約 150 名
		毎週 2 回・オンライン		30 名
体験交流イベント	季節に応じた交流イベントのオンライン開催	自主	744,223	小中高校・若者 のべ約 60 名
		年 5 回・オンライン		10 名
きょうだい・家族ケア	クリスマスプレゼント送付、きょうだいへ知育玩具等のおすそ分けなどを実施	自主	87,320	当事者家族等 のべ約 30 名
		随時・郵送等		5 名
		小計	2,777,604	

### (3) 病弱児への支援に関する啓発・講演活動及び講師派遣事業

事業名	事業内容	区分	支出	受益対象・人数
		開催日時・場所		従事者数
講師派遣事業	大学等に講師を派遣して病弱児支援について 広報、周知活動	謝金	688,196	講演等参加者 約 1,200 名
		年間 9 回・オンライン等		3 名
オンライン支援 シンポジウム	病弱児の教育や療養環境について 当事者家族や医療者とのシンポジウム開催	助成	366,287	地域支援者等 約 130 名
		8 月 2 日・オンライン		5 名
ニーズ調査事業	学校現場における病気を抱える子どもの 支援課題調査と啓発事業	助成	915,718	県内学校 649 校が対象
		8～9 月調査・県内学校		5 名
子どもたちの教育支援を 考えるシンポジウム	アンケート調査報告会及び 病弱教育関係者を交えたシンポジウム開催	助成	549,430	全国の関係者 約 340 名
		2 月 28 日・オンライン		5 名
アウトリーチ拡大事業	電話相談ダイヤル新設、支援解説動画制作 YouTube 動画広告を活用した啓発	助成	312,311	当事者家族等 約 100 名
		随時・オンライン等		5 名
		小計	2,831,942	

事業費計：10,590,010 円

## 個別学習支援、双方向WEB学習支援



▲支援拠点での個別学習支援風景



▲双方向WEB学習支援用ICT機器

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により対面支援が全面的に休止となったため訪問は行わず、主に自宅療養中の子どもに対し、テスト勉強や療養中の空白を補う学習支援、受験勉強補助など、それぞれのニーズに合わせた支援をオンラインで実施した。
- ・岡山市保健所や医療機関スタッフからの紹介や、10月から開始した相談ダイヤルに岡山県外からの問い合わせもあり、さまざまな依頼に対応することができた。
- ・入院中で卒業式に出席できない子どもに、地元の学校の卒業式を中継することもできた。
- ・岡山県教育庁特別支援教育課の専門家チームとして、学校と入院中の病室や療養中の自宅をオンラインで結ぶ遠隔授業についての助言や実施の協力を行った。

## ボランティア育成(新規ボランティア研修、フォローアップ研修)

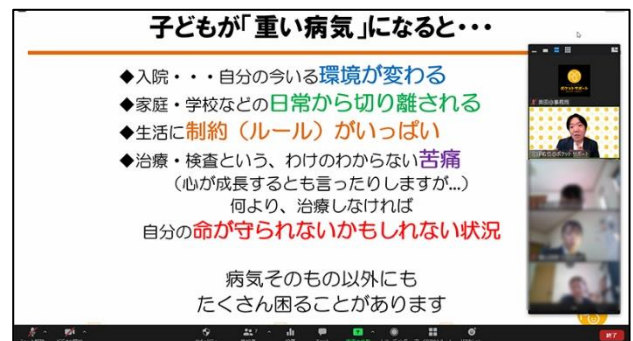
### ■新規ボランティア説明会および初回研修

開催日：2020年12月13日

- ・岡山県内の大学窓口や団体HPよりボランティアを募集
- ・説明会及び初回研修を受講後に活動開始
- ・年間で10名の新規ボランティア登録者(参加14名中)

### ■フォローアップ研修

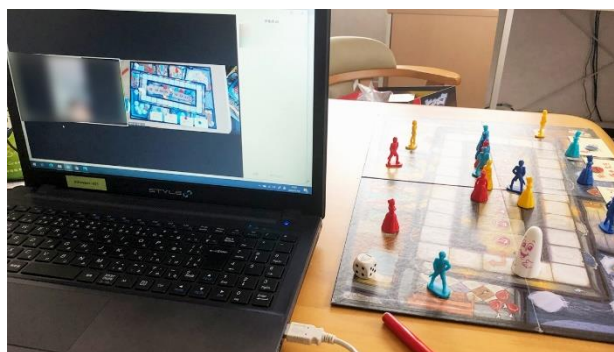
- ・各オンライン支援後に振り返り会を実施
- ・別途、交流イベントの企画運営による研修実施



▲オンライン開催した新規ボランティア説明会

## 慢性疾病を抱える子どもの相互交流を支援する「ポケットスペース」

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で休止となっていた支援が、医療機関のスタッフからの要望により、機材など整備し岡山医療センターで7月から、岡山済生会総合病院で9月よりオンラインでの支援を再開した。
- ・Yahoo!基金により整備した iPad を病院へ配布し、同様に J-Coin 基金で整備した PC を学習支援員が使うことでオンラインでの支援が可能となった。
- ・支援拠点、市内2か所の小児病棟を結ぶオンライン支援により年間延べ90名の子どもや保護者と交流や学習支援を行った。
- ・支援内容は知育ゲームによる交流、長期療養中の学習空白を埋める学習支援、受験勉強や復学に関する相談、進学先での合理的配慮の内容など、同じような長期療養経験のある当事者のピアサポートなど、幅広くおこなった。
- ・学習支援ボランティアなど支援従事者は年間延べ365名関わった。
- ・すべての活動がオンライン支援に変更された中でも、活動前の体温チェックや換気、マスクの着用、手指衛生の徹底など、看護師と連携し感染症対策を行い実施した。



岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務

## 体験交流イベント

感染拡大防止としてステイホーム中の子どもや家族も参加できる YouTube 配信や、ZOOM の同時双方向で実施した。企画・運営はスタッフや学習支援ボランティアを中心に行った。

■電子顕微鏡を使ったマイクロ世界クイズ・手話で『パプリカ』を歌おう♪

開催日時：2020年4月25日（YouTube 配信）  
YouTube 同時視聴者：約80名

■宇宙の星座・惑星クイズ&手話でハピネスを歌おう！

開催日時：2020年5月30日（YouTube 配信）  
YouTube 同時視聴者：約80名

■紋切りと折り紙を使った七夕飾りを作ろう

開催日時：2020年6月27日（YouTube 配信）  
YouTube 同時視聴者：約100名

■飛ぶタネの実験工作講座&マジックショー

開催日時：2020年8月29日（YouTube 配信）  
YouTube 同時視聴者：約100名

■ポケサポオンラインクリスマス会2020

開催日時：2020年12月20日（zoom）  
参加者22名



▲クリスマス会（お菓子デコレーション）

## きょうだい・家族ケア

緊急事態宣言や感染症対策のため、様々な制限がある中で、少しでも現状の子どもたちの笑顔につながる、私たちができることを検討して、入院中の子どもたちや放課後等デイサービスを利用する子どもたち、子どもの居場所づくりをする団体等にお菓子や知育玩具を届ける「笑顔のおすそわけプロジェクト」を実施した。

【協力いただいた団体等】（順不同・敬称略）

- ・ NPO 法人杜の家「りゅうそう放課後ラボ」
- ・ 一般社団法人  
子どもソーシャルワークセンターつばさ
- ・ 岡山済生会総合病院
- ・ NPO 法人ふれあいサポートちゃていず
- ・ NPO 法人あかね
- ・ 津山市立林田小学校 院内学級
- ・ 津山市立津山東中学校 院内学級



▲岡山済生会総合病院に入院する子どもたちにお菓子を届けました

## 講師派遣事業

2020年度は、年間9回の講演を行った。全体的に新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインの講演開催となり、前年度より人数や回数が減少した。テーマは病気の子どもの教育環境について、代表の三好の自らの闘病経験や、他の地域での病弱児支援の拡がりから講師を頼まれることも多くあった。聴講者は、特別支援学校の教員や、大学生、他県の小児慢性疾病の支援事業に関わる関係者など多岐にわたった。

①4月28日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 9名

②6月11日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 9名

③8月31日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 24名

④9月11日：北九州市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援事業「学習支援ボランティア研修会」

場所：ウェルとばた 20名

⑤10月25日：日本育療学会 第24回学術集会  
基調講演「地域が病気の子どもポケットを支えるつながりのかたち」

場所：岡山大学（オンライン開催） 107名



⑥11月24日：ノートルダム清心女子大学  
特別支援教育総論 特別講義

場所：学内での録画配信 60名

⑦11月29日：北九州市小児慢性特定疾病児童等  
相互交流支援事業「学習支援ボランティア養成ワ  
ークショップ」

場所：ウェルとばた 15名

⑧11月30日：岡山大学経済学部大学院 10名

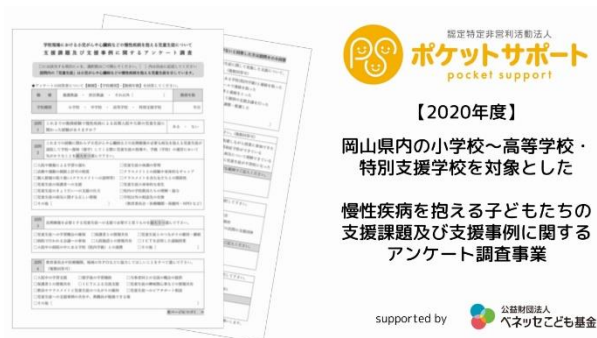
⑨12月13日：NPO 未来 ISSEY

小児病棟ボランティア研修「小児病棟ボランティ  
ア心得 病児との対応の仕方」

場所：オンライン開催 8名

## 岡山県内の学校現場における支援課題及び事例に関するアンケート調査

- アンケート調査票については、大守伊織先生（岡山大学大学院教育学研究科教授）、森宏樹先生（就実大学教育心理学科教授）、平賀健太郎先生（大阪教育大学教育学部准教授）にご助言をいただき作成した。
- 岡山県教育委員会特別支援教育課、岡山市保健福祉局保健所健康づくり課からも報告書にコメントをいただき、完成した調査報告書は岡山県内だけでなく全国の医療機関及び教育委員会などにも配布した。
- アンケート調査結果から復学支援に関する知識やノウハウが共有されづらい状態にあり、事例共有や研修の場が必要な事がわかった。
- 分析を行うことで慢性疾患の子どもたちが学校へ復学し安心した生活を過ごすために「学習支援」や様々な関係機関との「連携」「情報の共有」、先生方が慢性疾患の子どもへの担当になった際に相談する「相談先」や「専門的な知識を学ぶ場」が必要という事が示唆された。



実施期間：2020年8月～9月末

対象：岡山県内の小学校、中学校、高校、  
特別支援学校の養護教諭

配布：649校 回答数 273（回収率約42%）

## 入院中でも子どもの学びを支え孤立させないオンライン支援シンポジウム

病気を抱える子どもの家族の立場や、小児科医師の立場で入院中の子どもの学びをどう支えるか講演後にトークセッションを実施した。

開催日時：2020年8月2日

会場：オンライン（YouTubeライブ配信）

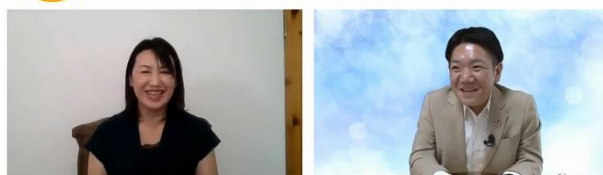
YouTube同時視聴者：126名

助成：公益財団法人ベネッセこども基金



入院中でも子どもの学びを支え  
孤立させないオンライン支援

YouTube  
LIVE 配信中



病気を抱える子どもの家族の立場で入院中の学習はなぜ必要か？



## 学校現場における子どもたちの教育支援を考えるシンポジウム

- ・大阪教育大学の平賀健太郎先生から「病気の子どもたちを取り巻く現状と課題」、京都女子大学の滝川国芳先生からは「病気を抱える子どもの教育を守るために」という題で登壇・講演いただき、各先生方とポケットサポート代表理事の三好祐也とのトークセッションを実施した。
- ・講師に許可をいただきシンポジウム発表スライドと、トークセッションも含めた当日の様子を録画編集したアーカイブ版動画を公開した。
- ・報告会の中では、文部科学省特別支援調査官の深草瑞世先生、国立成育医療研究センターの理事長でベネッセこども基金の理事長でもある五十嵐隆先生からもメッセージを頂いた。

開催日時：2021年2月28日

会場：オンライン（YouTube ライブ配信）

YouTube 同時視聴者：346名

助成：公益財団法人ベネッセこども基金



## アウトリーチ拡大事業（ポケサポ相談ダイヤル・YouTube 動画広告）

岡山市市民活動支援金により「ポケサポ相談ダイヤル」を開設して、岡山県内の各地から相談の電話を受け付けた。ホームページやブログ等を見た、岡山県外（大阪府や兵庫県など）からも復学や学習支援に関する問い合わせが相次いだ。

また、対面でのイベントや講演会が開催できないため、支援や相談を必要としている保護者等に会うきっかけを増やすため、YouTube 動画広告を期間限定で配信や、様々な分野の支援者に協力いただきメッセージサイトを制作した。

あなたからの  
電話が  
子どもたちの  
生きる力に  
つながる。

保護者、学校教員、医療関係者等から次のような相談を受け付けています。

- ・長期療養で学習の遅れに不安がある
- ・クラスの友達と退院後に馴染めない
- ・復学する時、どんなことに注意が必要？
- ・ICTを活用した支援を導入したい
- ・どんな事例があるか聞いてみたい

電話相談は学齢期に長期療養を経験した団体職員が対応します。担当者不在の場合は、後日折り返しでのご連絡となります。ご希望があれば相談内容を保健所等の関係機関と共有します。



▲ポケサポ相談ダイヤル広報ハガキ

病気の子どもたちの学習・復学支援 Npo法人ポケットサポート

作成者: 奥田 修平 ● 2020年12月8日

【あなたは一人じゃないプロジェクト】  
障がいがあっても、自分らしく生きていける社会を創る  
<子どもたちが「信じる」大人でいたい>

▼プロジェクトサイトはこちら  
<https://not-alone.pokesapo.site/>

NOT-ALONE.POKESAPO.SITE  
障がいがあっても、自分らしく生きていける社会を創る - あなたは一人じゃない！コロナに負けない子どもと家族の...

病気の子どもたちの学習・復学支援 Npo法人ポケットサポート

作成者: 奥田 修平 ● 2020年12月16日

【あなたは一人じゃないプロジェクト】  
女性が笑顔に、子どもが笑顔に、社会が笑顔に  
<精一杯生きる子どもたちの暮らしやすい、子供たちが笑顔で過ごせる環境作りをしていきたい>

▼プロジェクトサイトはこちら  
<https://not-alone.pokesapo.site/okayamabs/>

NOT-ALONE.POKESAPO.SITE  
女性が笑顔に、子どもが笑顔に、社会が笑顔に - あなたは一人じゃない！コロナに負けない子どもと家族の支えあい...

病気の子どもたちの学習・復学支援 Npo法人ポケットサポート

作成者: 奥田 修平 ● 2020年12月19日

【あなたは一人じゃないプロジェクト】  
未来は僕らの手の中！  
<子どもたちが思わず真似くなるような、カッコいい大人の「生き方」「あり方」を始め、やり続けていく>

▼プロジェクトサイトはこちら  
<https://not-alone.pokesapo.site/misora/>

NOT-ALONE.POKESAPO.SITE  
未来は僕らの手の中！ - あなたは一人じゃない！コロナに負けない子どもと家族の支えあいプロジェクト

## 運営に関する事項

### (1) 総会

通常総会	開催日	2020年6月6日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	社員総数28名のうち17名出席(表決委任状を含む)
	決議事項	・2019年度(令和元年度・第5期)事業報告及び決算報告について

### (2) 理事会

第1回	開催日	2020年4月29日(水・祝)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・令和元年度決算報告について                      ・令和元年度事業報告書について
第2回	開催日	2020年12月12日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・役員報酬規程について
第3回	開催日	2021年3月27日(土)
	場所	ポケットサポート事務所(岡山市北区奥田本町22-2) ※オンライン
	出席	理事3名(本人出席3名、委任状0名、欠席0名)
	決議事項	・役員報酬規程について                      ・給与規程について ・寄付金受領証明書の印影デジタル化について

## (3) 補助金・助成金

補助・助成機関名（順不同）	内 容	金 額
公益財団法人ベネッセこども基金	学校現場における病気を抱える子どもの支援 課題調査と啓発事業	1,858,000
J-Coin 基金	地域と連携した子どもたちの「生きる力」を 育むオンライン支援環境整備	2,000,000
Yahoo!基金	入院中の子どもたちの「生きる力」を育む オンライン学習環境整備事業	700,000
公益財団法人橋本財団	慢性疾病を抱える子どもの学ぶ意欲支援事業	700,000
公益財団法人福武教育文化振興財団	入院中の子どもが安心して参加できる オンライン支援環境づくり	300,000
赤い羽根共同募金	あなたは一人じゃない！コロナに負けない 子どもと家族の支えあいプロジェクト	200,000
MDRT Foundation-Japan	病気を抱える子どもたちを孤立させない 支援活動（オンライン DAY キャンプ）	200,000
岡山市市民活動支援金	ポケサポ相談ダイヤル事業	100,000

## (4) 受託事業

委託元	内 容	金 額
岡山市	岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務	1,800,000

## (5) 外部委員会への参加など

委員会等名（順不同）	委員名
SDGs ネットワークおかやま 副会長	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	奥田 修平
岡山県院内学級連絡協議会	三好 祐也